

新報 釧路

SENSHIN

1月18日土曜日

発行所 釧路新聞社

© 釧路新聞社 2025

〒085-8650 釧路市黒金町7の3

総務局/ ☎0154-22-1111

編集局/ ☎0154-22-1112

広告局/ ☎0154-22-1113

販売局/ ☎0154-22-1149

経営企画室/ ☎0154-65-5111

根室支社/ 中標津支社/ 標茶支局

東京支社/ 札幌支社

ご購読申し込み ☎0120-550-946

ブルーカーボンクレジット取得

釧路市東部漁協が道東初

釧路市東部漁協(司口圭哉組合長)が天然コンブ漁場再生のため行っている雑海藻駆除が、コンブ資源を維持するとともに二酸化炭素(CO₂)吸収量を増加し地球温暖化防止につながる取り組みとして、ブルーカーボンクレジットの認証発行を受けた。同認証の取得は道東で初めて。

(荒井純)

雑海藻駆除で天然コンブ拡大

ブルーカーボンクレジットは、藻場など海の生態系(ブルーカーボン)によるCO₂吸収量をクレジットとして発行し、企業など取引する仕組み。シャバンブルーエコノミー技術研究組合(JBE)が「Jブルークレジット」の名称で認証、発行し、環境保全に貢献。雑海藻(松井商会提供)



流水の接岸が、地球温暖化の影響で少なくなったことなどで、漁場に大量の雑海藻が繁茂するようになり、コンブの生産性低下が懸念されていた。

そこで、同漁協は流水接岸の役割を人工的に作り出す雑海藻駆除を1991年から導入した。方法は、チェーンのついた円盤を海底で回転させて雑海藻を削り取るSKフープ工法というもので、厚岸町の松井商会が開発した。クレジット申請に当たり、三津浦地域の約2・7畝で雑海藻駆除を行った後、半年間でコンブが生育した量を算出。JBEの審査により13・7トンのCO₂吸収量がクレジットとして認められた。申請者は同漁協と釧路工業、シャバンブルーカーボンプロジェクト(JBP)で、認証発行は10日付。

同漁協では、クレジット取得金額を雑海藻駆除などに充当し、今後、組合員の負担を抑えながら天然コンブ漁場を拡大していく考え。司口組合長は「海の資源を維持し、未来に残していきたい」と話している。